広岡の腰痛地蔵　　奈良県

むかし、奈良の広岡町に普光寺というお寺がありました。そこの六体地蔵さまは、腰痛地蔵と呼ばれていました。お参りすると腰痛が治るといって、昔からたくさんの人がお参りに行ったそうです。

あるとき、ひとりのおばあさんが、巾着に白いお米を少し入れて、杖をついてお参りに行きました。そして、お米をお供えして、

「どうぞ、治してください」といって、拝みました。毎日毎日行っては、拝みました。でも、腰痛はよくなりません。

とうとうある日のこと、おばあさんは、

「私は腰も痛いし、生きていても用はない。早くお迎えに来てください」といって拝みました。

すると、六体地蔵さまがあらわれて、

「わかった。さっそく明日迎えにきてやる」とおっしゃいました。おばあさんは、びっくりして、

「明日のこんどのそのこんどで結構です」といいました。すると六体地蔵さんは、

「わかった。明日のこんどのそのこんどに迎えに来てやる」とおっしゃったのです。おばあさんは、あわてて、

「明日のこんどのそのこんど、もひとつこんどのそのこんど、またもひとつこんどのそのこんど」といって、繰り返し繰り返し拝んで、帰っていったそうです。

この六体地蔵さんは願いごとをよくきいてくれるそうです。

おしまい。

村上郁再話

資料『子どもと家庭のための奈良の民話三』京阪奈情報教育出版